



2019年6月10日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。年金の不正受給を取り締まる法案が上院で可決されたことなどが好感され、ブラジル・レアル、国債は買われました。

法案は遺族年金や農業従事者の年金受給において発生していた不正受給を取り締まるために、受給資格審査の強化を図るもので、10年間で1,000億レアルの歳出抑制が期待されています。

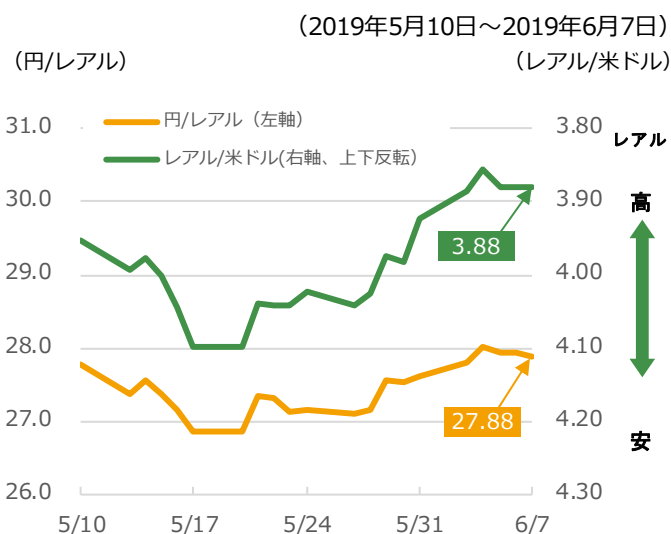
経済指標に関しては、4月の鉱工業生産や5月の各種PMI（購買担当者指数）、IPCAインフレ率が発表されました。鉱工業生産は市場予想を下回る内容となり、PMIについても前月から低下し製造業PMIは50.2になりました。インフレ率についても前月から低下し市場予想も下回りました。

今週の見通し

今週は、小売売上高や経済活動指数などが発表される予定です。

現在ブラジルでは、年金改革などを通じて歳出の削減を目指していますが、足元の弱い経済を受け歳出を賄うだけの歳入を得られない見通しが強まってきています。そうした中、ボルソナロ政権が前政権が定めた歳出上限ルールの緩和を検討していると報じられています。歳出上限ルールが緩和された場合には、財政規律への懸念が高まる可能性があるため、動向を注視したいと思います。

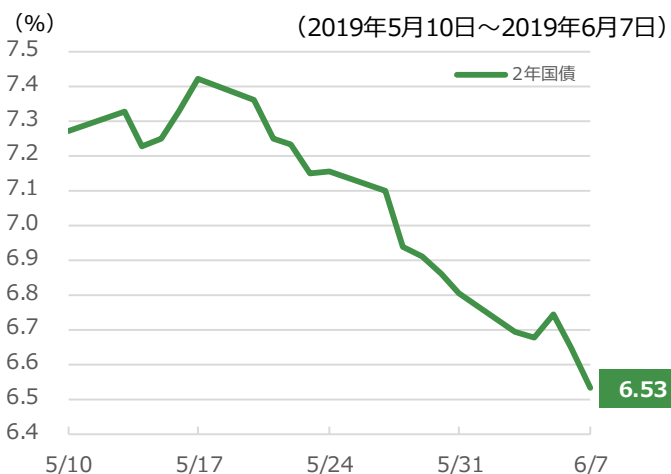
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。